

アイ・リンクだより

アイ・リンクグループ

真心はこび 人財づくり

石島代表 年頭挨拶

新年、明けましておめでとうございます。

おかげさまで、今年も無事に新しい年を迎えることができ、心より感謝いたします。

また、アイ・リンクグループの皆さん、そして、ご家族の皆さんにおかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年は皆さんご存知のとおり、「亥年」であります。人間や組織に当てはめると、個人としては「知識を増やす、精神を育てる」、組織としては「人材育成や設備投資、財務基盤を固める」といったように、外に向けての活動ではなく、内部の充実を心掛けると良い年になるということです。

内部の充実というところでは、2018年度の基本方針で「グループ基盤の強化」と掲げていることから、アイ・リンクグループのグループとしての強化を図っていくためには、やはり現場力の強化が重要になってくるかと思えます。

そのため、スローガンで「今ここで自ら行動！創業の精神」とあるように、皆さん一人ひとりの前向きな姿勢やプラス思考の行動こそが、より良い現場を創れるものと確信しておりますので、一致団結し、頑張っていきましょう。

また、石島運輸倉庫は85周年を迎えます。2019年は、さらなる飛躍を遂げられる年になるよう、皆さんと共に歩んでいきたいと思えます。

最後になりますが、アイ・リンクグループの皆さん、そして、ご家族の皆さんのご健勝とご多幸をお祈りいたしますと共に、本年もより一層のご協力とご支援を賜りますよう、心よりお願いいたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

今年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

謹賀新年



代表 石島 久司



アイ・リンクグループ 東日本ブロック

アイ・リンクグループ社員の皆様・ご家族の皆様、新年あけましておめでとうございます。

2019年の年頭にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

昨年も皆様には、一年間多大なご尽力、ご協力をいただき誠にありがとうございました。心より深く感謝申し上げます。またご家族の方々にはいつも暖かいご支援をいただきまして、この場をお借りして心より厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は2月に北陸の豪雪、6月に大阪北部地震、7月に西日本豪雨、9月に北海道地震や台風21号が発生するなど、災害が相次いで起きました。一年を表す漢字も「災」という字になり、自然の恐ろしさを思い知らされた年となりました。我々の物流業界も、災害の要因とも言える環境問題に大きく関わっております。今後、10年先、20年先、を見据えた経営をしていかなければなりません。まずは、今出来ることをしっかりと行動に移していくことが肝心です。

エコドライブ・事故ゼロを一人ひとりが意識し危機感をもって、日々の業務に就いて参りましょう。そして、グループ中期目標でもある『五方良しの経営』（五方とは、社員さん・お客様・地域・取引先・自社）を念頭において今年も取り組んで参ります。皆様のご協力のもとに、環境に優しい企業として認めていただき、生き残れる永年企業を目指していきます。今年も、まだまだ燃料高騰、人手不足、コンプライアンス強化など課題は山積みですが、新しい時代の変化に順応できる会社を創って参りましょう。

平成最後の年を良い形で締めくくり、そして新しい時代を迎えられるよう、今年も社員の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

最後になりますが、アイ・リンクグループ全社の発展と、社員の皆様をはじめ、支えていただいているご家族の方々のご健康とご多幸を心より祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。



東日本ブロック長
 (株)石島運輸倉庫
 常務取締役

毒島 洋一

アイ・リンクグループ 安全推進部

新年明けましておめでとうございます。

昨年中は、グループ各社の社員様をはじめ、ご家族の皆様方におかれましても、事故防止へのご協力をいただくとともに、交通安全講習会や事故防止関連の周知、各季の交通安全運動期間中における街頭指導参加等について、多大なるご支援をいただき、この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。

さて、グループ内の交通事故を取り巻く情勢ですが、昨年度の同時期と比べると、年度当初は皆様方のお力添えにより減少傾向が続いておりましたが、9月頃から一進一退を繰り返し、現在はプラスに転ずるという大変厳しい情勢になっております。これらの事故形態を分析しますと、毎年度と同じ「全体の9割近くが、壁や駐車車両、電柱などの静止物件に衝突」している事故であり、「確実な安全確認」さえ実行していれば、防止できたはずの事故です。

これらの事故原因は、突き詰めると【「だろう、はずの思い込み」＝「いい加減な安全確認」＝「面倒くさい」】です。私たちの生活は、特に電子機器等の発達により、日々便利な世の中になりましたが、その反面、「自動被害軽減ブレーキ」や「バックアイカメラ」などの自動機器類に任せることが、いわゆる「怠け癖＝面倒くさい」につながっていきます。一旦、この「物臭さ」が身に染み付いてしまうと、本来自分の目で確実な安全確認をしなければならないのに「まあいいか」、「大丈夫だろう」という「いい加減さ」で済ますようになり、最終的には「事故」に繋がっていくのです。

これらの事故を無くしていくには「安全確認は、自分の目で確実に」しか、ありません。言い換えれば「安全は、確実に見ること！！」で、今後は絶対に「安全確認は手抜きをしない」ことを実行して欲しいのです。

本年も引き続き、グループ内の「事故0」を目指すとともに、全ての社員さんが毎日、無事にご家族のもとに帰ることができるよう、事故防止に関する諸対策を進める所存でありますので、今後とも、更なるご支援ご協力をお願い申し上げますとともに、新年にあたり皆様のご多幸とご健勝を祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



安全推進部 部長 清水 進

(株)石島運輸倉庫 関東支店

新年あけましておめでとうございます。

皆様のご尽力とご家族の方々の多大なるご協力を賜り、こうして新年を迎えることが出来ましたこと、この場をお借りしまして心より感謝申し上げます。

さて、現在の物流業界は、「燃料の高止まり」「人材不足」「環境問題」「安全対策」といった問題が山積し、何かと厳しい状況下にあります。中でも関東支店においては「構内事故」が多く発生してしまいました。昨年の反省を踏まえ、今年は更に事故防止への取り組みに力を入れていきたいと思っております。皆様には、「基本とルールを守る」「安全確認の徹底」の実践とともに、「安全第一」での業務遂行をお願い致します。また、職場環境の改善や業績向上に向けての施策も根気強く続けて行き、良い年になるよう努力して行く所存です。新規のお客様への取り組みも増えるかと思っておりますので、「チェンジ&チャレンジ」精神のもと、皆様のご協力をお願い致します。

今年も、経営理念の「真心はこび」を実践するためには、まず「健康第一」が基本ですので、十分注意していきましょう。

最後になりますが、アイ・リンクグループ全社の発展と、皆様をはじめご家族の方々のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。



(株)石島運輸倉庫
関東支店
取締役支店長 川島 清

(株)石島運輸倉庫 西日本ブロック

アイ・リンクグループの皆様、新年明けましておめでとうございます。

おかげさまで、無事新年を迎えられるのも、ひとえに皆様のご協力の賜物です。この場をお借りし、厚くお礼申し上げます。

昨年7月は、西日本豪雨と呼ばれた、数日間記録的な豪雨に襲われ、11府県で大雨特別警報が発令され、死者は220人以上となり、平成史上最悪の気象災害となりました。そのほか、災害級の猛暑もあり、自然災害の恐ろしさを痛感した一年でした。

さて、本年5月より新元号に変わりますが、今は個の時代と言われ、個人主義が主流になっています。企業はあくまでも人と人の集まりで、その集団が同じ方向を向いて、進んで行かなければ企業の目的は達成できません。個々それぞれが協調して、連携し、お互いを理解し合える関係を保つことが必要です。

そのためにあらゆる場面でコミュニケーションが重要なツールになり、コミュニケーションを取ることで「聞いてない」、「知らない」が無くなります。風通しの良い社内には、チームワークが生まれます。そのアイ・リンクグループ全社一丸のチームワークで、お客様へ信頼と満足を提供していきましょう。

輸送部門・倉庫部門・人財派遣部門それぞれのシナジー効果を出しながら、アイ・リンクグループ全体で最大限の結果を残していきましょう。

今年も宜しくお願いします。



西日本ブロック長
(株)石島運輸倉庫 西日本支店 取締役支店長
(株)アイ・リンクサービス
代表取締役 上田 二三夫

(株)アイ・リンク 財務部／社長室

新年明けましておめでとうございます。新春を迎え、穏やかな日々をお過ごしのこととお喜び申し上げます。

昨年は燃料の高騰・人手不足等、物流を取り巻く環境は非常に厳しく、さらに、あおり運転による死亡事故など運転マナーに関し社会問題となった一年でもありました。当グループ社員の皆様におきましては、プロドライバーとしての誇りを持ち常に優しい安全な運転を心がけ、社会の見本となるような運転をお願いしたいと思います。

財務部におきましては昨年に続き、グループ会社の資金の安定と迅速な収益情報の提供、そして縁の下の力持ちとしてグループ会社をしっかりと徹底してサポートしていきたいと考えております。さらに、社員の皆様が安心して安全に健康的に働ける環境づくりを推進したいと考えております。本年もさまざまな課題を抱えておりますが、財務部員一丸となり、皆さんと共に問題解決に取り組みたいと考えております。社員皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

最後になりますがグループ会社の益々のご発展と社員の皆様のご健康と今後のご活躍を祈念申し上げ、念頭のあいさつとさせていただきます。



(株)アイ・リンク
社長室長
取締役財務部長 石島 真也

(株)アイ・リンク 総務部／(株)アイ・プロパティ

新年明けましておめでとうございます。

アイ・リンクグループの皆様、そしてご家族の皆様におかれましては、輝かしい新年を迎え心よりお喜び申し上げます。

さて、近年において物流業界では深刻なドライバーさん不足に悩まされ、燃料価格の高値止まり、そして今年の10月には消費税が10%に増税される等、アイ・リンクグループを取り巻く環境は、一層厳しい状況になると思われま。このような状況の中で、5月からは新しい元号がスタートを切り、心機一転、経営理念の「真心はこび 人財づくり」をぶれない基軸として、全社皆様が一丸となって協力し合い、そして変化する環境に対応すべくグループスローガンである「チェンジ」することが最も重要なことと思われま。管理本部総務部は、これからも社員皆様方が安心・安全な職場環境づくり、そして社風づくりに取り組む所存であります。

次に株式会社アイ・プロパティですが、昨年8月にコーディネーターが入社し、前橋・高崎・伊勢崎方面を中心に活動を展開しております。厳しい求人状況の中で、パートナーさん確保に苦戦を強いられておりますが、今年は基盤固めの1年として捉え鋭意邁進する所存でありますので、特に求人情報につきましては、グループ皆様のご協力と情報の提供を宜しくお願い申し上げます。

また、コンプライアンス支援部に関しましては、ドライバーさんの過労問題等に繋がる拘束時間、連続運転及び休息取得に対する是正問題に対するの支援を強化し、「運輸マネジメント」を基本としたPDCAの実践による「事故0の達成」に向けて協力していきたいと思ひま。

最後に末筆ではありますが、アイ・リンクグループ皆様とご家族様の今年一年のご活躍・ご多幸と、グループ全社の益々の発展をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



コンプライアンス支援部 部長
(株)アイ・リンク 取締役総務部長
(株)アイ・プロパティ 取締役社長 和田 真作

全京運輸(株)

アイ・リンクグループの皆様、新年明けましておめでとうございます。

おかげさまで、無事新年を迎えられるのも、ひとえに皆様のご支援・ご協力の賜物であり、この場をお借りし、厚くお礼申し上げます。

昨年は近畿地方では、6月に大阪府北部を震源とした震度6弱の地震が発生したほか、9月には台風21号が四国、近畿を縦断し関西空港は高潮で一部冠水し利用不能、連絡橋にはタンカーが衝突、旅行客ら約8,000人が孤立するなど、自然災害の恐ろしさを感じた1年でした。

今年5月から新元号に変わりますが、今の時代だからこそ、基本に忠実に「品質」「無事故」にこだわり続けることが私たちの使命だと思っております。「業界ナンバーワンになる」という私たちの夢は、皆さんの協力があればこそ実現するものと信じております。

どうか皆さん、新しい年が更に良い年になるよう力を合わせて行きましょう。

今年一年も宜しくお祈りいたします。



西日本ブロック長

全京運輸(株)

代表取締役社長

上田 二三夫

平和自動車工業(株)／経営企画部

アイリンクグループ役職員の皆さま、明けましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、本年が素晴らしい一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。

さて、**2019年**が始まり、中期経営計画初年度もあと三ヶ月を残すところとなりました。今年、私が皆さんと一緒にこの中期初年度をしっかりとやり遂げて、**2年目**に向けたシフトアップに繋げていくことが、大切なことだと考えています。

本年度基本方針の中で申し上げてきたことが三点あります。一点目は「新拠点の安定体制の構築」、二点目は「新機能開発」、三点目は「Grへの機能貢献拡大」。こういった言葉を、日頃、朝礼での唱和と解説、また皆さんとお話しする場面で申し上げてきました。

一つ目の「新拠点の安定体制の構築」ですが、新しい拠点に移転し早くも8カ月が経過しました。新たなお客様の開拓、既存のお客様への提供サービス向上、社内業務体制の構築等に力を合わせ取り組んで参りました。この様に現場や事務でOJTを通し現場力という物が大事だと取り組み、従来比で130%の生産性向上に繋がり、現場力や新規のお客様が拡大向上してきていると思います。

次の「新機能開発」ですが、工場移転時に社員さんとお客様に「4つの約束」をご説明させて頂きました。従来の大型車検、フォーク整備、保険業務、個人様乗用車車検の4つでした。この中で新しい機能に挑戦し、4つの約束の価値を高めてまいりました。特にフォークリフトでは、再生バッテリー、リチウムフォーク等の販売へ力を注ぎ新機能が見えて参りました。今までより上を目指すうえで大切なことは、我々が提供しているそのサービスを見るのではなく、売り先のお客様、そしてお客様のその先を見ていくことで、新たな発想、新たなアイデアが生まれイノベーションに繋がっていくものだと思います。自由な発想を持ち続け、平和自動車という会社を、平和らしさを発揮しながら成長させていきたいと考えています。

最後に「Grへの機能貢献拡大」です。アイリンクグループでの整備に関する事全てに平和自動車に関わり、結果を出してゆく。この取り組みから、グループにおける必要とされる存在意義と価値を高め、その取り組みを社外のお客様へ提供し拡大してゆこうとお願いしてきました。その様な中で昨年は出張整備、購入支援、保険管理、保険コスト低減活動等様々な事へ取り組み、日曜整備、保険支援等の機能が見えてきたと思います。

今年の干支は猪年です。十二支の十干において**2019年**の干支は「己亥(つちのと・い)」となります。この戊戌の年は、ステップアップする充実したタイミングにありながら、どうも調子に乗るとチャンスを逃す年になる。という意味があるそうです。まさに我々も新工場発足から2年目、そして中期経営計画2年目として、ステップアップ、シフトアップを目指す上で重要な一年になります。私自身は特にスピードの追求を推進していきたいと考えています。

最後になりますが、アイリンクグループ役職員の皆さん、そしてその皆さんを支えるご家族の皆さんの健康を祈念して年頭の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

平和自動車工業(株)

代表取締役社長

経営企画部 部長

深井 俊光



(株)マルトウ

新年あけましておめでとうございます。

昨年中は社員の皆様をはじめ、ご家族の皆様、アイ・リンクグループ企業の皆様方におかれましては、格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。この場をお借りし心より深く感謝申し上げます。

さて、私たち運輸業界の情勢は混沌としておりコンプライアンス・環境問題への取り組み強化、燃料価格の高騰、人員不足による採用活動費・教育費増大と大変厳しい状況が続いております。多くのビジネスチャンスはありますが、人財が足りず足踏みしている今、私たちにとって一番重要なことは、ドライバーさんの確保・定着と考えます。同業他社との人財確保競争に勝ち抜き、やりがいを持って働きやすい職場環境にするために何をすべきか、本格的な働き方改革の具体案を打ち出していかなければならないと考えます。

そして、三位一体なるコミュニケーションから新しい仕事のやり方を探求し、古い慣習を見直し、会社を変える効果的な取り組みにより「働き方改革」、「休み方改革」を広げ最適な職場の実現に向け邁進したいと考えます。そのために、再度、今年も原点に戻り経営理念・社是・社訓を基軸とした言動と社員さん一人一人を大切にす社風を築き上げていきたいと思ひます。

おかげさまで昨年9月には新社屋も完成致しました。新たなスタート地点とし、どうか本年も皆様方のご支援ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。最後にはなりますが、グループ全社の発展と社員様、ご家族の皆様のご健康とご多幸をご祈念致しまして新年のご挨拶とさせていただきます。



(株)マルトウ
専務取締役 澤田 豊

(株)アイ・ロジアドバンス

新年明けましておめでとうございます。

昨年中におかれましては、グループ各社の皆様・ご家族様には、多大なご協力・ご尽力を頂き、心より感謝申し上げます。お陰様で無事に新しい年を迎える事ができました。

さて、2018年を振り返りますと、物流業界に限らず国内の様々な業種から人手不足問題が聞かれました。また、地球温暖化の影響も関連して様々な災害等が各地で発生しました。今後の大きな課題・問題として外国人雇用やAIへのシフト変更等、様々な視点から見て100年に一度の変革期として取り上げられた年となりました。当社に関しましては、関係各社様ご支援の下、新たなお客様2社との取引を開始させていただき大変感謝しております。一方で、協力会社様も人手不足や燃料高騰等の厳しい状況下であり、物流費値上げや業務継続が難しい等の要望があり、既存荷主様との価格交渉や業務内容の見直し等、様々な交渉に時間を割いた年となりました。

2019年の物流業界は、人とロボットの協働・物流サービスレベルの見直し・宅配受け取りの多様化時代等、様々な変化が想定されております。弊社としてもコスト上昇の動向と水準を見極め、現在の手法から更に視野を広げ、サービスレベルの見直しや最小人員で業務可能な仕組みやルール作り等、先を見据えた改善に着手するスタートの年として考えております。営業面につきましては、お客様・協力会社様・グループ各社との更なる連携とコミュニケーションを図り、主力事業の食品物流を中心とした新規案件・顧客の獲得に全力を注ぐと共に、他業種への新規営業も積極的に取り組んでまいります。又、第二の柱となる様な、新たな事業確立に向け中期的な計画として検討・着手を目指し、継続的な会社の発展及び社会貢献に繋がる企業作りを目指していく所存でおりますので、引き続きのご指導・ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

2019年も良い年でありますように、グループ各社の皆様、ご家族様のご多幸とご健勝を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



埼玉エリア長
(株)アイ・ロジアドバンス
専務取締役

池田 泰孝

(株)コルネット

新年明けましておめでとうございます。

昨年中におかれましては、グループ各社の皆様・ご家族様には、多大なご協力・ご尽力を頂き、心より感謝申し上げます。この場をお借りしお礼のご挨拶とさせていただきます。

さて、2018年を振り返りますと、昨年から実施された大手宅配業者の配送費値上げや集荷個数制限等、宅配便利用時に関連する厳しい業務環境が続きました。その中で社内の業務改善として、出荷荷物に合わせた臨機応変な最適宅配便会社選定等の実施により、コスト改善を進めてまいりました。また、お客様からは、宅配料金値上げの対策処置の一環で、倉庫保管料金・作業料金等の見直し要請等もあり、総合的にはお客様・弊社共に物流費や業務内容見直し等に対し、試行錯誤の年となりました。社内活動につきましては、現場力の強化を基本方針として、個々の能力向上を目指して、部門別ミーティングや業務ローテーション等を行い、少しずつではありますが業務内容の改善やコミュニケーションに対する変化と結果に繋げる事が出来ました。

2019年は、既存のお客様に対してシステム提案を全面的に推進し、良好な関係を維持・構築出来る様に、倉庫マネジメントシステム導入・稼働に向けた取組も本格的に着手するほか、付加価値やサービスの提供を更に充実させ、通信販売物流業務を中心とした新規案件・顧客の獲得を強化していきます。また、将来的な戦略も視野に入れ、新業態・業種へのアプローチや新規事業への取組を積極的に推進していくスタートの年として、継続的な会社の発展及び社会貢献に繋がる企業作りを目指して参ります。そして、アイ・ロジアドバンスとの共同でグループ各社との営業連携・業務改善に尽力し、グループ全体の躍進に貢献できる様、取り組んでいく所存でありますので、ご指導・ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

2019年も良い年でありますように、グループ各社の皆様、ご家族様のご多幸とご健勝を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



埼玉エリア長
(株)コルネット
専務取締役

池田 泰孝

安全祈願祭：2019年元旦

平成31年1月1日に根本山神社様においてアイ・リンクグループ安全祈願祭が執り行われました。

石島代表、会長、専務を初めとする37名の参加となりました。グループ全体が一丸となり事故ゼロを目指しましょう！！

安全祈願祭

だるまさん目入れ



石島代表



石島専務



石島会長



毒島常務

優秀安全運転事業所として表彰されました！ 全京運輸(株)



昨年10月31日、全京運輸(株)が「交通事故防止に顕著な貢献」をした業績により、京都府警察本部交通部長と、自動車安全センター京都事務所長との連名で、「優秀安全運転事業所：銀賞」の表彰状をいただきました。

これも、日頃から上田代表をはじめドライバーさん、社員さんが一致団結し、積極的な交通事故防止活動を継続している賜です。これからも引き続き、安全運転をよろしく願います。

この度の受賞、誠にありがとうございます！

京都府トラック協会 南支部ボーリング大会 全京運輸(株)

昨年11月18日、京都府トラック協会南支部様開催のボーリング大会へ全京運輸(株) 増田安信さん、岡野明弘さん、岡野さんの奥様、永島 慎也さん、宮本 竜司さん、田名 正嗣さんの6名が参加しました。岡野さんのコメントと共に結果をご紹介します。

今年は、新メンバーも加わり、6名の参加で上位をキープするも、惜しくも優勝を他社に奪われる大会となりました。しかし、我社のホープ宮本竜司さんが2位、私、岡野明弘が3位になりました。

来年こそ、首位奪還並びにワン・ツー・スリーを目指して！

”ボーリングは奥深く楽しいスポーツですよ”



2018年 忘年会の様子

(株)アイ・ロジアドバンス & (株)コルネット

H30年11月30日(金): はなの舞 様

設楽主任 コメント

金曜日にちょっと早い、忘年会をアイロジ・コルネット共同で開催いたしました。はなの舞東所沢店で行い、普段はあまり話をしない方々とも話ができて、星谷部長も初参加であり、大変盛り上がりしました。

おいしいお酒、ソフトドリンク、皆さん沢山飲んで、騒いで、今年もあと一か月頑張ります！！



(株)マルトウ 第一事業部 H30年11月24日(土):横浜中華街 大昌飯店 様

齋藤 学さん コメント

2年ぶりに一泊二日での社員旅行で中華街に行きました。有名店のコース料理という事もあり、皆さんお腹いっぱい召し上がってました。翌日はみなとみらい周辺の自由行動でしたが、好きなところに行かれていて、楽しかったと言っていました。あっという間な二日間でした。



(株)アイ・リンク H30年11月30日(金):大龍 様

喜田 かおりさん(財務部) コメント

総務部、財務部合同で開催しました。職場とはまた違った雰囲気の中、和気あいあいとコミュニケーションがとれて楽しめました。



**(株)石島運輸倉庫
太田流通センター**

H30年12月14日(金):美鈴 様

白鳥 雅大さん コメント

パートさんも含め、みんなで和気あいあいと楽しい時間が過ごせました。たくさんの方々とのコミュニケーションも図れました。また次回も楽しみにしています！



**(株)石島運輸倉庫
千葉第一&第二営業所**

H30年12月22日(土):目利きの銀次 様

花井所長 コメント

千葉第一・第二での合同忘年会を開催しました。事務員さん、ドライバーさん4名計7名の全員参加で楽しい時間を過ごしました。



**(株)石島運輸倉庫 西日本支店
福岡&佐賀&大分&長崎センター**

H30年12月22日(土):焼肉ウエスト 様

肥山課長代理 コメント

遠い所からの参加ありがとうございました。日頃できない情報交換や楽しい話で盛り上がる事ができました。私は今回が初めての参加となり、この忘年会で皆さんとより深く親しくなれたように思います。来年もよろしくお願ひします。

